

経済学科

2012

| 整理番号 No | 科目名 Course Name | 学期 Term | 配当年次・単位 Student Year(s)・Credit(s) | 担当教員 Professor |
|------------|--------------------|------------|--------------------------------------|-------------------|
| 207 | 経済学演習 (荻沼隆) | 通年 | 3年以上：4単位 | 荻沼 隆 政政・経演・国演 |

副題
Subtitle 不完全情報とゲームの理論を中心としたマイクロ経済学

授業概要
Course Description この演習では、主に、不完全情報の経済学とゲームの理論を用いた経済分析を学ぶ。この分野は、マイクロ経済学の中級レベル以上のテキストにはほとんど含まれているが、マイクロ経済学の講義の中では、通常部分的にしかカバーできていない。この講義では、まず不完全情報の経済学とゲームの理論の標準的な内容を学習する。その上で、限定合理性を考慮した分析のように発展的な研究を行うか、特定の分野に関するやや現実的な応用研究を行うことを目的とする。

授業の到達目標
Objectives ミクロ経済学・ゲーム理論の基本的内容を理解し、それらを現実の経済問題の分析に用いることができるように学習する。

授業計画
Course Schedule (α) 第1回～第15回：マイクロ経済学もしくはゲーム理論のテキストを輪読し、その内容について議論する。
(α) 第16回～第30回：ゲーム理論もしくは行動経済学についてのテキストを輪読し、その内容について議論する。
(β) 第1回～第5回：今迄学んだ内容に関連する領域のテキストを読み、それについて議論する。
(β) 第6回～第30回：各自のゼミ論文のテーマについて、それぞれの段階での中間発表を行う。

教科書
Textbook(s) 未定。

参考文献
Reference Book(s) 未定。

| 評価方法 Evaluation | 割合 (%) Percent (%) | 評価基準 Description |
|------------------------------|-----------------------|-------------------------|
| 試験 Examination(s) | % | |
| レポート Report(s) | 70 % | 内容の正確さおよび問題設定・分析力を考慮する。 |
| 平常点評価 Class Participation | 30 % | 出席および授業への参加度を総合的に考慮する。 |
| その他 Other | % | |

備考
Note 学生に対する要望：マイクロ経済学とゲーム理論に関係する演習なので、演習参加者は、事前にマイクロ経済学とゲーム理論の基礎知識があることが望まれる。それがあまりない場合は、演習での最初のテキストブックの学習の時点で、キャッチアップするやる気のあることが前提条件になる。

関連URL
URLs for References